



### 何を検討すべきか (検討テーマ)

#### 市民と議会の関係とは？

議会と市民の関係はどうあるべきか？

・議会と市民、行政と市民の関係づくり

・議会の在り方を市民との関わりで条例にどう位置づけるか

市民意見をどのように議会に反映するの？

・議会と市民の関係の整理

A) 投票率を高めるためには議会がなくなると何が困るかを考えてみる

### どのように規定するか (検討テーマに対する個別の提案、目的・考え方や具体的な規定設定の方向性等)

#### 市民に身近な議会

・市議会が市民に身近になってほしい

C) 市民の意見が反映される

C) 市民参加の確保

#### 市民が統制できる議会

・市議会の解散権を市民が持つ

A) 選ぶ権利の市民

B) 議会と首長がなあなあになったらどうするか

#### 市民による議会監視

A) 良い意味での「市民が議会を監視する」システム

C) 市民の合意形成に有効に作用する議会のあり方とは

B) 議員は地域の信託に対して必要な情報を徹底し吸収する

B) 市議会は市民の意向や状況をよくつかんでは

#### 市民意見を聞く努力が必要

・議会から市民に意見を聞く努力を

・市民の意見を議会に反映する仕組み

#### 直接請求(議会解散請求・解職請求)

#### 情報交換

A) 議会と市民の情報交換の活性化

A) 議員と市民、首長とのミーティング

A) ex) ネットワークを利用した遠隔参加を可能に

#### 公聴会の開催

A) 重要案件の議決に際しては必ず「公聴会」を開くこと

#### 公約の条例化

・議員のマニフェストを条例化する

#### 市民の予算提出権

・市民に、議会への予算提出権を与えたらどうか

#### 議会と行政の関係とは？

議会と行政の関係はどうあるべきか？

・議会・行政・審議会の役割の明確化

・議会と行政の役割の明確化

A) 行政の理念との整合性を図る

B) 行政への議員管理要望の透明化を明記

B) 首長でなく議会が運営してもよいのでは

・行政・議会の外形標準を定める規定

C) 行政は議会に情報を提供する透明性、公開性が必要

#### 前回と次回以降へ

【基本・総論編】(前回)

#### 条例のつくり方・ポイント

B) 時代の変化の激しい中で、スムーズに対応していけるようなものにする

#### 自治体って何？

C) 自ら治める自治体  
A) パートナーシップ型の地域づくり

A) 市民は「住民」と理解するのか、川崎「市」なので市民とするのか  
C) 企業、事業者の市民としての権利と義務

【盛り込むべき内容2】(次回)  
(区のあり方)

#### 区って何？

B) 行政、区の役割の分権化

【制度・装置】

#### 住民投票

B) 地域エコ排除、代替案提示義務(住民投票)

#### 条例の実効性を高める

B) 司法における本条例の救済措置(第三者機関)

B) パブリックコメントなど公聴制度の仕組み、手続き、ルール、意見への応答義務を明記すべき

【その他】

#### まちの課題を解決するために

A) 循環型社会への取り組み  
B) 理念の一例として自治・公費意識など醸成のため、教育への役割を期待

B) 警察について、市民の安全確保の観点から盛り込むことはできないか

#### 検討の仕方(世話人会へ)

#### 学習会について

統合的情報公開制度  
市民活動支援指針

#### 総合計画との整合性・体系化

C) 基本構想と総合計画との整合性と体系化

#### 知りたいこと

C) 提案をだれ(市民、議会、行政)がするのか

C) 政策の実現可能性とは(法的・財政的に)

C) 判断をだれ(市民、議会、行政)がするのか

#### その他

・こういう住民参加制度があったらいいな!!の議論、アイデア出しから出発する